

プログラム

(敬称略)

「超長期保存メモリ・システムの開発」ワークショップ

2012年11月16日(金) @JST 東京本部別館 4階 F 会議室

コーディネータ：小林敏夫(神奈川大)、 オーガナイザー：田中一宜(JST/CRDS)

12:45-12:50 主催者挨拶 田中 一宜 (JST CRDS)

12:50-13:00 WS の趣旨説明 河村 誠一郎 (JST CRDS)

セッション 1 基調講演

13:00-13:35 石原 直 (東大) 「デジタルデータの長期保管における課題と戦略」

セッション 2 WS の課題と論点

13:35-13:50 小林 敏夫 (神奈川大)

セッション 3 超長期保存メモリの必要性和社会・経済的効果

13:50-14:10 池田 功一 (国立国会図書館) 「国会図書館のアーカイブ長期保存の課題」

14:10-14:30 山本 政弘 (NHKアーカイブス部) 「映像デジタルデータの長期保存」

14:30-14:45 江連 三香 (三菱総研) 「社会・経済的効果」

コーヒーブレイク(14:45-15:00)

セッション 4 超長期保存メモリの技術的課題と開発推進方法

15:00-15:25 黒田 忠広 (慶応大) 「半導体デジタルレガシーの発表から学んだこと」

15:25-15:50 岡上 拓己 (ソニー) 「ロバストなアーカイブの要件」

15:50-16:15 白石 賢二 (筑波大) 「MONOS の長期信頼性について」

16:15-16:40 小林 敏夫 (神奈川大) 「意味理解の保障に向けて」

セッション 5 全体討論 16:40-17:30 (司会：小林 敏夫)